

H29 臨時幹事会資料

議長 勇崎 幹太 (明治大学)

議題 電気通信大学のオーダー違反とその罰則

議論の上での決まり

透明性を図るため、幹事以外の傍聴可能とする。(ただし傍聴者に発言権はない)

B1校は利害関係が発生するため議長が発言を許可したときのみしか発言できない。また議決権は持たない。

経緯

団体戦1日目1Rに神奈川大学、2Rに東洋大大学と対戦。

その数日後、山岸氏が休学中であること、休学中の者は団体戦に出場できないことが部内で発覚し、連盟に報告。

電気通信大学の話では、山岸氏が休学していたこと、休学中の学生は出場できないという規約を知っているものが少なく、気づくのが遅れたとのこと。

罰則 常任幹事で話し合った結果次の案が出ている。

案1 山岸氏が出場した対局の違反負け(2試合とも負けているため実際はなし)、警告 1、山岸氏の半期出場停止(H29年度秋季)

理由：誰も気づかないような違反でありながら、きちんと自ら報告した点を考慮して重い罰則は避けるべきであり、また、他大学への影響も少なくすむため。

欠点：違反内容のわりに罰則が軽いのではないかと他大学が納得しない可能性がある

案2 電気通信大学の初日の対局をすべて違反負けとする

理由：違反の内容は重く、きちんと罰するべきであり、他大学も納得しない。だが、自首しているので、団体戦全ても不戦敗にはせず考慮すべきという理由から。

欠点：昇級などに大きな影響を与えてしまい、関係ない大学に不公平が生まれる。

案3 電気通信大学の団体戦をすべて0-7不戦負けにする

理由：違反が重く、影響も最小限に抑えるため。

欠点：自首しているにも関わらず罰則がかなり重くなっている。

参考事例 2009 年春団体戦 上智大学のオーダー違反

経緯

上智大学が、慶應大学戦・東京理科大学戦においてオーダーに記された名前と別の人が出場していた。

団体戦 3 日目前日にその対局を観戦していたものの指摘でこの事実が発覚。

事実確認を行なった結果、上智大学のオーダー表の 4 将のところに記されていた名前が慶應戦・理科大戦での副将戦の棋譜用紙に記載されていた。そして、4 将のところには全く別の人物が対局していた。

団体戦 3 日目の前日の指摘であったこともあり、対応できず 3 日目はそのまま対局が行われる。

表彰式の前に緊急臨時幹事会が開催され、上智大学を来季出場停止にしないことのみを決定、表彰式は順位が確定しないので開催されず。

1 週間後の臨時幹事会が開催され罰則が決定する。

罰則

該当者の出場していた対局（慶應戦・理科大戦）を 0-7 にし上智大学の負けにする。その他はそのままにする。

その結果、上智大学は降級、また、降級先で最下位スタートにとする。

背景（掲示板より 掲載者：上智大学部長（当時））

遅くなりましたが、上智大学として、春のリーグ戦の不正についての説明と謝罪を載せさせていただきます。

まず事実説明について。春のリーグ戦で初日が終わった時点で、うちの大学は降級の可能性が高くなったため、なんとか将棋部員以外で上智大学の学生の中に戦力になる人はいないか、と四年生の何人かが考え、その一人が同じ学科の中の適当な人に思い当たりました。そこで声をかけてみよう、という話になったようです。ただこの時点では、それまで将棋部に来たことが一度もなかった人なので、ほとんど現実化するとは思っていなかったようです。

しかし、二日目前日辺りにその人が来てくれることがわかり、主にオーダーを決めていた人の意見で、出場させることが決定されました。そして当日、その人には別の名前を棋譜に署名することを指示し、彼は二局指した後で用事により帰りました。

以上が事実です。不正のオーダーで対局した理科大と慶応大の方々、降級に関して紛糾を招き一番直接的に迷惑をかけた理科大と埼玉大学の方々、そして昇級、残留をかけて真

剣に指していた関東将棋の全関係者に対し、今回のような不正を為したことを心からお詫び申し上げます。本当に申し訳ありませんでした。

上智将棋部内部の処分として、今回の不正に関し主導的な立場にあった四年生二人を、大部処分とすることにしました。来期のリーグ戦については、部内でいまだ決定されていません。当然辞退すべきとも思うのですが、後輩について見ると今回の不正についてまったく知らなかった後輩がほとんどであり、またそのことを考慮していただいた故の幹事会の決定かとも思われるからです。ですので、秋のリーグ戦については決定次第報告いたします。

最後に、上智大学の不正で現在最も迷惑をかけている埼玉大学の方々には、本当に申し訳ありませんでした。A級に理科大とそろって残留されることを心から望み、応援させていただきます。

臨時幹事会のやり方

理科大、埼玉大は降級、残留に関わるため発言権なし。ただし、意見書の提出は可能

その後の影響

本来の成績なら埼玉大は残留、理科大降級であったが、埼玉大が降級、理科大残留となった。

本来なら残留出来ていたはずが降級してしまったこと、発言が制限され、自分たちの意見が言えなかったこと（意見書には議長提案、上智大学の処分についてしか書けなかった）で埼玉大学は抗議したが結果は覆らなかった。